



月刊宮司プレス 第二百三十九号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和八年 四月 十五日

◇宮司の柴田です。今が盛りと咲きにおつた桜も、一昨日の雨にその花びらをいさぎよく散らしました。御神殿東側の藤の花も咲き始め、拝殿東側の楠若葉も色鮮やかです。まさしく、季節の移ろいは、速度を早めていくように感じる昨今です。お待たせしました、宮司プレス二百三十九号の発行です。いよいよ来月で発行二十年の節目の二百四十号を迎えます。感慨も一入です。

◇今は亡き作詞家の阿久悠さんのことばが、平成十四年九月の産経新聞に掲載されたことがあります。それは、「四季を繰り返すことによつて日本人の感性は微妙さを備えていたのだが、今や何となく二季の感じがする。天地の営みが、熱波と寒波のみになったら日本人はどうなる。軟着陸のできない

激情だけで求めたり傷つけたりするようになりそうだ。」というものでした。相次ぐ

無情な殺傷事件の報道や、SNS上で穂先の鋭い言葉が、見ず知らずの人を傷つけたりする出来事などは、まさしく、阿久悠さんが危惧されていたことです。晩春から初夏への季節の移り変わりの真つただ中である今こそ、人恋しさや人を思う感傷、もののあ

われの情緒というものが、芽生えるのではないでしようか。今夏も厳しい暑さが予想されていますが、年々迎える厳しい暑さは、四季ある国に育まれた情感を、やせ細らせるように思えてなりません。

◇さて、自然科学という時間とは、日常的な時間との概念とは、いささか異なるそうです。

哺乳類は、巨大な像から小さなハツカネズミまで一生に心臓が打つ回数は二億回で、寿命の限界は同じだそうです。御存知でしたか。ハツカネズミは、一秒間に十回打つので、二三年で寿命がつかるといふことになります。人間より、ゆつくりと脈を打つゾウやクジラは、百年近く生きられるというわけです。したがって、時計で測る一生の時間は、長短

がありますが、我々人類をはじめ、それぞれの動物が感じている、一生の長さの感覚は、同じだということになります。人生の時間は、絶対的な時間ではなく、自分だけが感じる時間ということですが。しかも、過去を生きたことはできませんし、いまだにやっつけない未来を生きたこともできません。自由に使えるのは、「今、この瞬間の時間」だけです。「今、この瞬間」の中にこそ、過去も未来も含まれているのです。坂村真民さんの詩に、「大切なのは、かつてでもなく、これからでもない一呼吸 一呼吸の 今である」とあります。

徒然草にも、「存命の喜び 日々を楽しまざらんや」とあります。今ある命に感謝して、生き活きと生き永らえることが大切です。作家の嵐山光三郎さんは、「人間は期限付きの消耗

品であるところに「趣があります」と述べられています。

「諦念（あきらめること）でもなく抵抗でもなく、むしろ、老いや衰えを受け入れ、「楽しみは下り坂にあり」というのが、「期限付きの消耗品」の極意ではないでしょうか。

「アンチエイジング 抗加齢」でもなく、「ウエルエイジング 肯加齢」とも違います。

それは、楽しく抵抗しながら、老いを少し先送りし、多くを望まず、そのうえで一日一日を精一杯楽しく生きる、まさしく、既刊号の宮司プレスにも記述しましたが、「ナイスエイジング 優（勝）加齢」です。

◇とかく、人生というものは、悲しみや辛いこと、不条理や納得のいかないことに満ちています。いまの世界情勢は予断を許さない状況で、日常生活もおびやかされつつあります。しかしながら、私共は、この地球で生きているのではなく、「生かされている」のでありますから、

そう思うことにより、日々の生き方も自ずと変わってくるはず。私共の御先祖様は、「雨の日は雨を聞きつつ 風の日は風を聞きつつ よろこんで生きる」、自然や時代の変化の中に身を置きながら、自然を敬い、その状況に順応した生活を実践されました。まさしく、「期限付きの消耗品」の趣であり、「ナイスエイジング」です。

御先祖様の示唆を生活の糧と生きていきたいものです。御自愛くださいませ。

◇三月祭典行事報告

- ▼月次祭 *二月一日
- ▼貴布禰神社月次祭 *二月一日
- ▼月次祭、朝粥会 *二月十五日
- ▼南風泊恵比須神社例祭



- ▼春季祖霊祭 *三月二十日
- ◇三月の宮司動静

- ◆神社関係団体
- ▼早起会参拝 *三月一日

- ▼敬神婦人会役員会 *三月五日
- ▼維蘇志会例会 *三月十三日
- ▼神道会総会 *三月二十日
- ▼敬神婦人会花見茶話会にて講演 *三月二十九日

◆神社庁関係

- ▼祭式研修会 *三月三日～四日
- ▼神社体験会にて挨拶 *三月七日
- ▼神社庁正副庁長会、役員会 *三月十一日
- ▼神社庁祈年祭、教化会議、神宮大麻推進会議 *三月十一日
- ▼神職大会 *三月二十六日
- ▼神社庁教化部戦略会議 *三月二十八日

◆自治会、学校関係、人権相談員、他人権擁護委員

- ▼自治会、学校関係、その他
- ◆あいさつ運動 *三月十日
- ◆迫町自治会役員会 *三月十一日
- ◆西山小卒業式 *三月十九日
- ◆迫町自治会総会 *三月二十一日
- ▼講演活動
- ◆青山会（ベ이스ターズファンクラブ） *三月十六日

▼教誨活動

- ※「必勝祈願祭の祝詞解説」
- ※美祢社会復帰促進センター
- ◆集合教誨女子 *三月二日
- ◆集合教誨男子 *三月十六日